

一般社団法人 日本オーディオ協会
会 長 校條 亮治

「伝統とイノベーションの本質」

皆さま、明けましておめでとうございます。昨年は激動に翻弄され続けられた年でしたが、皆さまにとって安息のお正月でしたでしょうか。私にとってのお正月は、除夜の鐘に始まる初詣でしょうか。子供のころから大切なこととして続けてきましたが私にとってはそこからイノベーションを始めるという心の問題があるからです。イノベーションというと大げさに聞こえるかもしれませんが、心新たに新しいことに挑戦しようということです。伝統とイノベーションという対比が相応しくないかも知れませんが、そのためにも伝統的な行事としてお正月を迎えることや、初詣は欠かせないのです。

昨今はネットを中心に過多と言えるほど情報が氾濫しています。もはや何が本物か、何が正しいかすら判別できません。情報を中心に生活スタイルは勿論のこと、考え方まで変わってしまう時代です。好むと好まざるを得ず、情報が社会を変えていくことはやむを得ないことですが、制覇してしまう事はとても正しいこととは思えません。

冒頭、毎年除夜の鐘を合図に初詣をする話をしましたが、若い方から見れば古臭いしきたりだと言われるかもしれませんが、私は常に伝統の中の本質を見極めることが本物のイノベーションにつながると認識しています。今年も大いなる激動の年であろうと思います。一度立ち止まり自らじっくりと考えることが大切ではないかと思えます。

日本オーディオ協会は一昨年“日本発、世界初”で次世代オーディオの中核として「ハイレゾ・オーディオ」を提案し、お陰様で世界のスタンダードに成りました。一方で私たちが求める本質的価値は「感性価値」の基本である「良い音」の追求です。今年もオーディオの本質である“良い音”とは何かを求め、新たな提案をしていく所存です。本年も変わらぬ御支援を賜りますことをお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。